



チラシ配架不許可は
団体への圧力ではないか
鈴木 啓太郎議員



公民館としては廃止が決定

上福岡西公民館が市民の持ち込んだチラシを内容で選別して配架を拒否したのは、禁じられている検閲、団体への不当な圧力にならないか。

依頼を受けたチラシは議案提案中の公民館条例廃止に反対することが明記されており、議案への賛否を明確にするチラシを公共施設に配架することは不適切とした。公民館以外の場所での配布を禁じるものではない。従って検閲には当たらず、

統制や萎縮的效果を及ぼすものではないと考える。
**住民の利用を
拒めない公の施設**

地方自治法第244条は、公の施設について定義し、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取り扱いをしてはならないとしている。これに抵触しないか。

チラシの館内配架は、公民館の付加的サービスとして行っているもので、当該チラシは政治的中立性を損なう恐れがあると判断した。

**社会教育団体との
意見交換は**

今後当該団体との意見交換はあるのか。
社会教育事業の推進について有意義な話し合いをしている。



公民館事業の充実
塚越 洋一議員



公民館廃止でもカンナは芽を出す

館としての公民館がなくなる中で、公民館事業を縮小するのではなく、充実するために何をなすべきか。東西の文化施設に市の職員としての社会教育主事を配置することが必要では。

尽くしていく。

**市防災訓練への
市民参加**

市の総合防災訓練については、計画作りの段階から市民とともに市民が主役という考えをもっと取り入れるべきでは。

地域の特性に応じた訓練については、総合防災訓練動画などを活用し、好事例の横展開を図るなど、自主防災組織による訓練を支援していく。

24時間地域にいる確率が高い中学生の参加についての考えは。

地元にいる中高生たちは、災害現場において災害支援の貴重な存在である。自主防災組織の一員として活躍することは重要な意義がある。今後は、ふじみ野高校にも参加を促していく。



子どもたちの食を
地域で守るために
鈴木 美恵議員

フードドライブやパントリー事業の周知と更なる拡大は。

令和6年も県下一斉フードドライブキャンペーンに参加し、市の環境フェアでは積極的に周知、受け入れを行った。11月から本庁舎1階の総合受付にフードドライブの回収箱を設置した。

子ども食堂でも課題となっている食品保管庫の設置は。

現在、寄附金の活用による大型の冷凍冷蔵庫の購入に向けて、設置場所や運用方法等について



誰でも気軽にフードドライブ

詳細を詰めている。
**障がい者支援の
充実と人材育成を**

困っていると感じる障がい者への声かけや手助けの方法が分からない。ガイドヘルプを学ぶ講座の開催を。

**市誕生20周年
記念事業の充実を**

公共施設や歩道橋などに横断幕・垂れ幕を。

市役所本庁舎・大井総合支所に懸垂幕、上福岡駅東口に整備した横断歩道橋に横断幕の設置を考えている。



マイナ保険証がなくても
医療が受けられる周知を
足立 志津子議員

市が発行する資格確認書の提示で医療を受けられるとする厚労省方針の周知のため、広報板に大きな文字で掲示を。検討したい。

**ステラ・イーストの
防音対策**

音楽スタジオBからドラムの音漏れ、振動による上下の部屋への影響改善を。

ホール棟が完成したら、代替案を考えたい。



バンド練習が盛んなスタジオB

**防犯灯の不具合への
対応と今後**

不具合の発生原因と

対応は。

夏季の異常な高温や雷の多発が、LED照明灯の開発設計時の想定を超えたことに起因する。業者が年度内に点検、交換を計画している。

令和10年賃貸借契約満了後の維持管理は。

本市にとって最善となる方法を検討する。

**高齢化社会に
おける投票権の保障**

令和6年10月の総選挙で3件が不受理となった。理由は。

不在者投票は投票日前日までに実施とする公職選挙法の下で、投票日に投票が行われたことが確認されたため。

不在者投票に関する規定の周知を。

指定施設の不在者投票管理者に事務ルールの徹底を図る。



一人暮らし高齢者
安全確保はいかに
床井 紀範議員

災害発生時などは個人情報保護よりも、生命の保護が優先されるべき。一人暮らし高齢者の個人情報共有できないか。

災害時などの緊急時は、本人の生命、身体または財産を保護する場合、本人以外の者に提供することが明らかに本人の利益になるときは、必要な範囲で個人情報を提供できる。

**小・中学生の
意見を反映して**

子どもの意見表明権を尊重した子どもの居場所づくりが求められる。これまでの取り組みは。

令和4年4月から子どもの未来を育む条例を施行した。

子どもの意見を尊重した取り組みとして、自らの主張を伝える機会とし



策定中のこども計画への反映は。

令和6年5月から6月に、子どもや若者から意見を聞いたので、その結果を市のこども計画に反映できるよう進めている。



部活動の地域移行
近藤 善則議員

会津若松市は、部活動の地域移行を地域と連携して生徒を育てるための体制づくりと位置付け、平日は学校、休日は地域が部活動を担っている。本市の取り組みは。

部活動の地域移行を急ぎすぎて、子どもたちの教育環境や地域に混乱をもたらさないよう、子どもや関係者の意見を把握し、検討を重ね、計画的かつ段階的に取り組むことに留意する。

市宮野球場の整備

関係団体の要望を受けて、どのように整備するのか。

グラウンド内の水はけの改善を含め、内野部分を黒土、外野は人工芝によるグラウンド全体の改修、電光掲示板の設置、防護ネットの設置などの項目について現在調整、詳細設計業務を実施している。



木々の向こうは野球場